

| | |
|----------|--|
| 基本目標 | (2)「人と人が支え合う」まちづくり |
| 基本施策 | ②人材育成・確保 |
| 施策名 | ボランティア活動の育成 |
| 施策内容 | 社会福祉協議会との連携により、ボランティア活動を継続して実施していけるよう、環境づくりに努めるとともに、人材育成、技能の向上などを促進し、活動の活性化を図ります。 |
| 今年度の取組方針 | <ul style="list-style-type: none"> ・障害のある人が地域の中で役割を持ち、支え合いながら、自分らしく生きることができるよう、地域住民の障害への理解を広げる。社協広報等による啓発活動、小中高等学校、地域の中で学びの機会において福祉学習をすすめ、人材発掘・育成を行い、ボランティア活動の推進を図る。 |
| 今年度の事業実績 | <ul style="list-style-type: none"> ・なかよしゲーム・スポーツ大会、クリスマス会、障害者居場所づくり等の活動において、一般、短大生・高校生ボランティアの参加を呼びかけ、実行委員会の段階から、障害のある方との交流を育み、ボランティアの主体性を高めながらすすめている。障害への理解を深め、支え合い共に生きる地域づくりを行う人材育成に努めた。 ・小中高等学校の福祉学習支援や、地域や企業における福祉学習機会に、障害への理解を広げ、地域での支え合いを高める働きかけを行うとともに、ボランティア活動への参加を働きかけた。 |
| 事業の課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・なかよしゲーム・スポーツ大会、クリスマス会、障害者居場所づくり等の活動に際し、ボランティア募集を行うも、活動者は固定化しており、高齢化の傾向にある。また、障害分野におけるボランティアグループも長年活動されている方がほとんどで、新しい活動者を増やすことが課題となっている。これまで活動に参加したことがない住民や、20代～40代の年齢層の方へも新たに活動に加わってもらえるよう工夫が必要である。 |
| 来年度の取組方針 | <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアセンターに登録されているグループの大半が会員の高齢化や新規活動者の確保が困難な状況にある。社協広報紙等を通じて活動の魅力を伝え、それぞれのグループの会員拡充を図り、活動を活性化するサポートを行う。各グループへなかよしゲーム・スポーツ大会等の活動への参加を依頼し、新たな活動者の拡充に努める。 ・障害のある人が地域の中で役割を持ち、支え合いながら、自分らしく生きることができるよう、地域住民の障害への理解を広げる。社協広報紙等による啓発活動、小中高等学校や地域の福祉学習の推進、人材発掘・育成を行い、ボランティア活動の推進を図る。 |